



FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

No.68

June.20, 2019

藤

藤女子大学
広報



チャペル棟「聖マリア聖堂」とマリア院横の藤棚

CONTENTS

- 巻頭言～未来共創への新たな取り組み／2
- 新入生へのエール／4
- 日本語支援ボランティア「うえるかむはうす」での活動／8
- 学科の活動だより／13
- 私のカレッジライフ～課外活動編～／14

巻頭 言



未来共創への 新たな取り組み

学長 ハンス ユーゲン・マルクス



昨年を分岐に18歳人口は再び減り、藤学園が創立100周年を迎える2025年までは10万人以上減少します。大学進学率を現状の五割と仮置きすると、入学者は5万人も少なくなり、とりわけ地方における小規模の私立大学の生き残りが深刻な問題となります。この危機を好機に変えるため、初心を再確認しつつ、大胆な改革に取り組むことは、最良の道でしょう。

北海道の開拓が進む中、カトリック教会のより積極的な関わりの必要性が痛感されるようになり、これにこたえて、1907年以来、ドイツ出身のフランシスコ修道会の司祭ヴェンセスラウス・キノルドは、函館地区以北の北海道におけるカトリック教会のまとめ役を務めていました。「北海道の未来は女子教育にある」と確信していたので、祖国のデュイネに本部がある殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会に修道女の派遣を要請しました。

ところが、第一次世界大戦のため、派遣は1920年まで延期されました。また、講和条約で敗戦国ドイツは巨額な賠償金を要求されたので、通貨が下落し、学校開設のために修道会がせっかく用意していた資金は価値のないものになっていました。そこで、主として米国のカトリック信者を相手に募金が進められた結果、1924年には、北海道初の五年制高等女学校の設置を文部省に申請する条件が整いました。その年の春、札幌に設計事務所を開設したマックス・ヒンデルに校舎の設計が依頼されましたので、同年12月24日に設置認可された札幌藤高等女学校は、ヒンデルの日本デビュー作となった次第です。因みに、関東大震災で焼失してしまった上智大学1号館の再建企画と南山中学校の校舎設計も彼の作です。

1928年10月には、外部にも校名を広く知らせるため、昭和天皇即位記念事業として校庭の道路側に面して、藤棚が設けられました。開校当初から校名に込められている

志を生徒に訴えるため、禅の書物にある歌が大切に教えられてきました。「下がるほど 人の見あぐる 藤の花」と。ドイツの北西部地方から来日してきたばかりの修道女たちはよくも日本の文化を理解し、「キリスト教的世界観や人間観」を土台とする教育に役立たせた、と頭が下がります。

以来、高い知性と豊かな人間性を兼ね備えた多くの女性が巣立ち、社会のそれぞれの場で活躍してきました。卒業生こそブランドを背負っているという確信に立って、2017年度には「教職員・学生・卒業生」の三位一体を主体とする「藤女子大学未来共創ビジョン」を策定し、その具体的計画であるアクションプランの実現に向けて取り組んでいるところです。

こうした取り組みと並行して、わけても教職員が中心の主体となるべき教育組織及び教員組織の改革に一刻も早く着手できるように、合意形成のため努力を積み重ねてまいりました。この結果、今年4月1日に藤女子大学将来構想会議を立ち上げました。本学の中長期的な将来像を描き、適正な学生定員管理のもとに建学の理念と教育目的を実現するための具体的な改革案を審議し、2020年12月を目処として書面をもって、学長に答申して下さるよう、お願いしております。構成員を選ぶにあたっては、ジェンダーバランスに加えて、教員と事務職員及び北16条キャンパスと花川キャンパスとのバランスを最優先し、各々が五分五分に近い結果になっています。

受験生や保護者が大学を選ぶに当たって、主眼は偏差値から各大学のミッションや理念に移っています。本学のミッションや理念は尊い伝統に立脚しており、特に北海道では、高く評価されてきています。これからも、そのミッションや理念が有効に実現されるように、組織の大胆な改革に資する提案が新しい会議体に期待できる、と確信しています。



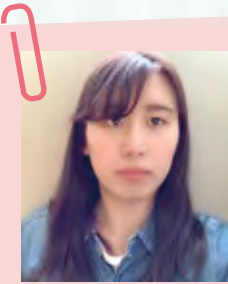
2019年度



新入生対象自炊入門のご報告

毎年恒例の新入生対象自炊入門を今年度も開催しました。この料理教室は2年前までは、人間生活学部の教員が中心となり開催していましたが、昨年からは料理サークルの「Cooking Labo」に依頼し、学生が主体となって企画・運営を行っております。今年度は初の試みとして北16条キャンパスの調理実習室を使用することになったことから、花川から搬入する必要のある調理器具のリストを作成し運搬したり、慣れない教室での作業動線を確認したりするなど事前準備にも時間を要しましたが、当日は終始和やかな雰囲気の中で終了いたしましたので、ご報告いたします。

(食物栄養学科 准教授 隈元 晴子)



自炊入門 料理教室を終えて

人間生活学部 食物栄養学科 2年
F.Mさん

4月13日(土)に自炊入門料理教室を開催しました。

この料理教室は、保健センターが主催となり、初めての自炊や大学生活に不安を持っているであろう新入生を対象に調理技術・知識の向上や学生同士の交流を目的に行なっているものですが、我々 Cooking Laboは昨年からは企画・運営を担当しています。例年、花川キャンパスで行っていましたが、今年度は、初めて北16条キャンパスの調理実習室で開催し、19名の新入生が参加してくれました。

自炊入門料理教室ということで、メニューを決める際には、料理に不慣れな学生でも簡単に美味しく作ることができるということを念頭に置き、「鶏肉のトマト煮・ポテトサラダ・コンソメスープ・ティラミス」を考案しました。工夫した点としては、一人暮らしでは料理のレパートリーが少なくなりがちなことや、翌日のお弁当にも入れることができる料理だと役に立つのではないかと考え、季節問わず購入可能な食材の使用や作り置き・リメイク可能な料理を紹介できるよう心がけました。

食育の内容は、一人暮らし2年目の部員に話を聞き、実際に不安だったことを参考に思案しました。その中でも特に食品の保存方法や保存期間がわからず、せっかく購入



した食材を腐らせてしまうことが多かったとの意見が多かったため、「食材の保存期間と保存方法」についての食育を行うことに決めました。全ての野菜を紹介することは時間の都合上難しいため、今回は、料理教室でも使用したじゃがいもやにんじん、肉類などの身近な食材をいくつかピックアップして紹介することにしました。配布した冊子には文字だけでなく、イラストを加えるなどの工夫をしました。

今回、初めて私たち2年生が中心となり企画・運営を行った料理教室だったため非常に緊張しました。多くの学生や先生方の前でデモンストレーションを行うことも初めての経験で、大変有意義な経験になりました。その反面、不慣れなことも多く、不手際やアクシデントも多々ありました。その中でも1番衝撃的だったアクシデントは、調理台のブレーカーが落ちてしまい、炊飯器の電源が切れてしまったため、ご飯が炊けていなかったことです。本当に驚きましたが、参加してくださった先生方の助けを借りて、何とか無事に終わりホッとしています。本当にありがとうございました。また、事後アンケートでは、「楽しかった」「参考になった」の声が多く、やりがいを感じています。今回の経験を生かし、今後の活動も精進していきたいです。



新入生へのエール

〈文学部〉



チャレンジ精神

英語文化学科 4年
M.Hさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そろそろ学生生活に慣れてきた頃でしょうか。大学は高校と比べ自由な時間が増えます。この自由な時間をどのように使うかは皆さん次第ですが、様々なことに積極的にチャレンジし、悔いのない4年間を送ってほしいと思います。

私は、英語文化学科以外でも興味関心を持った授業はできるだけ多く履修するようにしていました。違った分野の授業を履修していく中で、様々な国の文化を学ぶことへの興味が高まり、夏休みや春休みを使い、アジアを中心に5カ国（韓国、台湾、フィリピン、タイ、マレーシア）を訪れました。日本でこのあたり前が海外ではそうではないことが多々あり、相手に耳を傾け、理解を深めることが異文化理解において重要なことだと改めて学びました。新しい文化や人々との出会いを通して得た発見や驚きが、自分の成長に繋がっているのではないかと

思います。

大学生活が始まり、アルバイトやサークル、留学など、何か新しいことに挑戦しようか迷っている時には、臆せず挑戦してみてください。迷うということは、少なからず興味があるということですから、ぜひ思い切ってチャレンジしてみてください。皆さんが大学生活の4年間で、自分のやりたいことや夢を見つけ、そしてその夢に向かって自分を磨いていくことで、有意義な大学生活を送ることができるのではないかと思います。皆さんの新しい生活が楽しく、充実したものになることを心から願っています。

2019年度 英語文化学科 新入生



挑戦してみよう

日本語・日本文学科 3年
U.Sさん

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学での日々は想像しているより、何倍も早く過ぎていきます。この4年間、ポーっと生きていると（叱られるはしません）時間はあっという間に無くなっています。大学の4年間で薄くつまらないものにするか、濃く充実したものにするかは自分次第です。

私は、せっかくなら大学生活を濃く充実したものになりたい!と思い、1年生の4月から「藤女子大学 日本語・日本文学会 学生運営委員」に加わりました。日本文化や文学の知識向上はもちろん、人に物事を的確に伝える難しさに改めて気付かされるなど、1人の人間として学ぶことも多くあります。

そして3年生となった今年度からは、大学図書館の学生スタッフ「LiSt」としての活動もスタートしました。大学生活の半分が過ぎたいま、新しいことに取り組めること

が非常に嬉しく、「LiSt」の活動を通してさらに成長していきたいと思っています。

動かなければ、何も経験はできません。それは逆に、動けば何か経験できるのです。そしてその経験は、自分の力になります。サークルに入る、アルバイトを始めてみる…どんなことでも良いと思います。

挑戦すると、失敗するリスクも伴いますが、私は学生である間に失敗の経験をしておくことが後の人生に活きると思っています。失敗することは怖いかもしれませんが、しかし、その経験に無駄なことはありませんから、色々なことに挑戦してみる大学生活にしてください。

2019年度 日本語・日本文学科 新入生





毎日の楽しみを増やす

文化総合学科 4年
E.Rさん

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新たに始まった学校生活はいかがでしょう？ 自分の好きなことを思い切り学ぶことができるというのが、大学の醍醐味です。皆さんには、ぜひ思い切り好きなことに挑戦していただきたいです。

所属している学部・学科にとらわれず、あらゆる分野から自分の学びたいことを探し、挑戦してみてください。私は文学部で学び、現在は西洋美術について研究しており、幼い頃から好きだった美術に没頭しています。大学で学ぶことで得られる新しい発見や知識は、必ず自分の強みとなり、皆さんの未来の可能性を広げてくれるものになります。ぜひ好きなものを諦めることなく、学ぶことに挑戦してほしいです。

勉強だけでなく、部活動・サークル活動やアルバイト

にも自由に挑戦することができます。新しいことに挑戦することは、今まで頑張ってきたことを応用することにもなります。私が大学に入り新しく始めたことは、アルバイトです。その一方で、高校から力を入れてきた華道も継続しています。皆さんもぜひ挑戦する楽しみと、継続することで自分が成長できる喜びを経験してみてください。

皆さんが今まで力を入れてきたことは必ず大学で発揮されますし、これから学ぶことは必ず皆さんの将来に役立つものとなります。ぜひあらゆることに楽しみを見出し、毎日が面白いと思える学校生活を送ってください。私たちは皆さんの大学生活を力いっぱい応援します。

2019年度 文化総合学科 新入生



〈人間生活学部〉



気づき、磨く4年間に

人間生活学科 4年
Y.Nさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高校生活から環境が一転し、藤女子大学での生活に慣れてきた頃でしょうか。

大学生活は、学業を第一としながらサークル活動やボランティア活動、アルバイトや趣味、資格取得など自分が興味を持ったものに対し、のびのびと挑戦できる期間です。

そして大学生活はあっという間です。時間を大切に使いながら興味を持ったことには積極的に取り組んでみてください。そうすることで皆さん一人一人がこれから磨いていきたいと思うことを発見することができることでしょう。

また、大学生活の中では様々な立場、考えを持つ方々と関わる機会があります。このことを通じて多くの刺激を受け、自分でも気が付いていなかった自分を発見し、自己成長に繋げてほしいと思います。

人間生活学科では、3つの専修を軸として幅広い分野を

学ぶことができます。あたたかい先生方のもとで、勉強したいことが決まっている方はもちろん、まだ決まっていない方も様々な分野の科目を履修し、学びを深め視野を広げてほしいと思います。

今の自分の行動が未来の自分の道を作ります。些細な経験の積み重ねが自分に自信を与えてくれます。たくさんの希望と可能性を胸に、1つでも皆さんが挑戦したい、極めていきたいと思うことができるを見つけ、大学生活を振り返った際に充実していたと胸を張って言うことができるような実りある4年間を過ごしてください。

2019年度 人間生活学科 新入生





Let's try!

食物栄養学科 4年
Y.Hさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学から数か月が過ぎ、藤女子大学での生活にも慣れてきた頃かと思います。

さて、皆さんが思い描いていた大学生活はどのようなものでしょうか。のんびり、キラキラ、人それぞれのイメージがあったと思います。しかし食物栄養学科に入った皆さんは、「思っていたよりも忙しい」と感じているのではないのでしょうか。栄養価計算やレポートに追われ講義も遅くまであり、新しい学びを楽しむ一方で、あまり必要性を感じられないこともあるかもしれません。しかし、現時点で皆さんは学問の基本を学ぶ時期であるため、全容が見えずよくわからないと感じるのも当たり前です。学年が上がり専門科目を学び始めると管理栄養士の骨格が必ず見えてきます。そこからが栄養学の面白さだと思います。

また、やりたいことを実行する姿勢を持ってほしいと思

います。アルバイト、サークル、旅行など新しく挑戦できる場は様々あります。私はアルバイトのみ行っていましたが、3年生の時に別海町で2週間住み込みの研修に参加しました。ぼっと思いついたことでも実行してみてください。「こんな経験をした」という達成感を得られるだけでなく、思いがけず色んな人や考えに触れ自分を変えるきっかけになりますよ。

専門的な学問を集中して学び、自由にやりたいことをできるのは今が最後かもしれません。皆さんがたくさん学び資格も得て、満足できる4年間の学生生活を過ごせるよう応援しています。

2019年度 食物栄養学科 新入生



保育学科の「仲間たち」と乗り越えて

保育学科 4年
S.Mさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。藤女子大学での学生生活は楽しめていますか？新しい環境にまだ慣れていない方や、悩みを抱えている方もいるかもしれません。初めは私も、新たな出会いや生活のスタートに夢を膨らませる一方、大学生活は想像より遥かに忙しく、毎日のやるべき事を1つひとつこなすのに必死でした。特に、1年生の頃は、講義や課題が多く大変ですよ。各講義で出される課題を提出し、加えてテスト勉強もしなければなりません。そんな時に私の支えになったのが友人たちの存在です。難しい課題も、互いに励まし合い、休憩時間を楽しく過ごし、乗り越えました。

保育学科の授業には、グループでの取り組みが多く、今まであまり関わらなかった人達とも、長い時間をかけて話し合い、準備し、課題を成功させるために団結することが求められます。今はまだ出会ったばかりで話したこと

のない人や苦手だと感じる人もいますが、自分から壁を作らず、まずは笑顔で挨拶することから始めてみてください。私は、相手を理解し、少しずつ自分を知ってもらおうと意識して、いろいろな人と会話をしたことで、4年間で大切な仲間がたくさんできました。大学生活が毎日楽しいのも、苦しい時を乗り越えられたのも、保育学科の仲間たちのおかげです。

4年間、素敵な仲間たちと充実した大学生活を送れるよう願っています。

2019年度 保育学科 新入生



〈大学院〉



新入生の皆さんへ

人間生活学研究科
食物栄養学専攻 2年
K.Tさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学院人間生活学研究科2年生を代表して、心より歓迎いたします。

私は大学4年生の時に将来を見据えて、今のままだと“何も戦えるものがない”と気が付き、もっと専門知識を身に付けたいと進学を決めました。大学院では「がんを予防する食事」について研究をしています。食事は薬とは違いすぐに効果はありませんが、習慣としての食事は健康を維持するためには大切な役割を果たします。研究方法等に日々頭を悩ませています。自分の関心事なので毎日が充実しています。栄養教諭専修免許状取得のために1週間に10単位分のレポートに追われることもありましたが、しかし専門的な授業が多く、それまでの暗記だけの記憶が知識に繋がる瞬間があり、より理解を深めることができました。研究の一環として調理実習の授業を行った

ことは貴重な経験で学びが多かったです。また、オーストラリアでの短期研修に参加し、日本の食文化しか知らなかった私の視野はさらに広がり、授業やホームステイで生きた英語に触れたことで英語論文も身近に感じられるようになりました。

大学院1年目は授業に参加することに必死で、あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、全てが自分の知識や経験として活かされています。今年は本学以外の大学院の単位互換授業にも参加しようと思っています。新入生の皆さん、共に色々なことに挑戦して充実した大学院生活にしましょう。

2019年度 大学院 新入生



新任教職員紹介

文化総合学科
准教授
平井 上総



[専門分野]
日本中世史、戦国・織豊時代史
[好きな言葉]
日々精進

食物栄養学科
教授
原 博



[専門分野]
栄養生化学、消化管生理学
[好きな言葉]
Think Positive

食物栄養学科
助手
東海林 悠香



[専門分野]
食物栄養学
[好きな言葉]
継続は力なり

食物栄養学科
助手
宮沢 梨花



[専門分野]
食生活学
[好きな言葉]
成るようになる

保育学科
教授
松村 聡



[専門分野]
小学校算数科教育法
[好きな言葉]
雨の日には雨の中を
風の日には風の中を

総務課
(施設担当)
高橋 康太郎



[好きな言葉]
継続は力なり

教務課
白馬 沙知



[好きな言葉]
一期一会



退職教職員

文化総合学科 教授 石田 晴男
(「歴史」基礎演習、日本史演習)

食物栄養学科 助手 齋藤 恵 (栄養教育)

食物栄養学科 教授 大西 正男
(生化学、栄養生化学実験、生体機能学特論)

食物栄養学科 助手 松井 のり子 (食品学)

学習者とともに学ぶ

日本語支援ボランティア「うえるかむはうす」での活動

2010年に本学シスターより日本語教室「うえるかむはうす」をご紹介いただき、日本語教員養成課程の学生2名がボランティア活動をスタートさせました。その後毎年2~6名が活動に参加するようになり、気がつけば今年で10年目、活動に参加した学生は33名に上ります。内4名は現在国内外で日本語教師として活躍しています。

学生達は週1~2回90分の授業を受け持ち、初級レベルの日本語学習者に指導を行っています。1回の日本語授業に何週間もかけて準備を行える大学の「実習」授業とは異なり、毎週授業を担当し続けるのは大変です。しかし、その分日本語指導力が着実に身に付いていくのを感じます。

本学日本語教員養成課程は2年間のコースのため、日本語教師として就職を希望している場合には、課程授業を修了した後卒業までの1・2年間、日本語教育に携わらない期間ができてしまいます。そのため、課程で学んできた

文学部 日本語教員養成課程 准教授 副田 恵理子

知識を維持できるよう、また指導実践の機会を持ち続けることで就職後の仕事につながられるよう、当初日本語教師志望の学生を中心に活動の機会を提供してきました。しかし、日本語教師にならずとも、ボランティア活動における外国人との触れ合い・支援は、多くを学ぶ機会となっているようです。これは、今後外国人の受け入れが急増する日本社会において幅広い場面で役立つはずですよ。

今回は、現在活動に参加しているお二人と、卒業後ボランティアでの経験を活かしてマレーシアで日本語教師として活躍している卒業生に「うえるかむはうす」での活動について語っていただきました。

「うえるかむはうす」で学生たちの活動を温かく見守り、支えてくださっている皆様はこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。



「うえるかむはうす」は1998年カトリック札幌司教区の委員会活動の一環として設置されました。北海道内に在住する外国籍の人々への支援施設として、開設当初から日本語教室の開催や多文化を背景に持つ「ダブル」の子どもの学習支援を行っています。2018年2月、カトリックセンター建設に伴い、敷地内にあった別の施設と同様に建物は解体されましたが、センター2階にある委員会室をベースに日本語教室活動を継続しています。



文学部
日本語・日本文学科
4年
R.Eさん

「うえるかむはうす」での活動を通して得たもの

私は現在、外国人に日本語を教えるボランティアとして、「うえるかむはうす」で活動しています。課程の授業・台湾での実習を経て、昨年参加し始めました。

私が約1年間教えてきて大切だと感じたことは、事前準備と柔軟性です。事前準備は正直大変です。私は週2回担当しているので、授業との両立が難しいこともあります。しかし、調べていくうちに日本語の魅力を再発見できるうえ、その面白さを学習者に伝えたいという気持ちが湧いてきて、モチベーションが上がります。さらに、どう教えたら良いかというのを毎回自分で考えるので、工夫の引き出しを増やすことにもなり、今後の活動や

就職にも活かせるものだと思います。

また、「うえるかむはうす」には、様々な目的の学習者がいます。それぞれに合った教え方をしようと毎回努力していますが、その教え方が学習者本人に必ずしも合うとは限りません。授業内だけでなく、授業前後の会話でも躰きなどを確認し、それらを以後の授業に取り込める柔軟性を身につけるということが重要だと感じました。今後も活動を続けていくなかで、どちらも丁寧に取り組み、技術面についても経験を通して多くのものを吸収していこうと思います。



文学部
文化総合学科
卒業生
O.Nさん

外国籍の人々への支援を通して

私は在学中3年生の春休みから現在まで、「うえるかむはうす」で日本語を教えています。日本語教員養成課程を終了後、より実践的な力を身につけたかったことと、以前からボランティア活動に興味があったため活動を始めました。

当初は初めて1人で行う授業に不安もありましたが、養成課程の副田先生や「うえるかむはうす」の他の先生方が教案作りからサポートして下さり、安心して教えることができました。また就職活動の履歴書作成や模擬授業の際、「うえるかむはうす」で実際に教えた経験が大変役立ちました。

「うえるかむはうす」には様々な国籍の学習者がいます。また

彼らが日本へ来た理由も様々です。日本での生活のため必死に勉強する学習者に対し、一人一人に寄り添い、実生活で使えるようコミュニケーションがメインの授業を行うよう心がけています。学習者から「職場で役に立った」などの報告をもらった時はとても嬉しくなります。

「うえるかむはうす」でのボランティア活動は、日本語教授の経験を得るだけでなく、人の役に立つことの喜びを感じることができます。今後も学習者と真摯に向き合いながら「日本語教育」という側面から外国籍の人々への支援を行っていきたいと思います。



文学部
文化総合学科
卒業生
K.Mさん

先生と呼ばれること

私は、高校生の時に日本語教師を志し、日本語教員養成課程のある大学に進学しました。在学中は、日本語を教える機会を求め、出来る限り留学生のチューター活動や校内の留学生交流会などに参加していました。とはいえ、留学生のほとんどは既に日本語が上手で、日本語教師の卵の私が教えられることと言えば、若者が使う日常会話程度しかありませんでした。そんな私が、実習としてではなく、一人で、ある学習者たちの先生として、日本語を教えるために初めて黒板の前に立ったのが「うえるかむはうす」です。はじめは「先生」と呼ばれるたびに「いいえ、

まだそんな存在では…」と言いたくなりました。しかし、私が教えたことを書きとる学習者の姿を見て、経験がなくても知識が足りなくても教壇に立てば、私には「先生」としての責任があるのだと感じました。これがきっかけで「学習者にとって良い授業ができたのか」「自分が教えたことに責任が持てるのか」と考え、努力するようになりました。これは日本語教師5年目を迎えた今でも変わりません。うえるかむはうすで「先生」と呼ばれた日。それが、私にとって「先生」になるための一歩目を踏み出す日になったのだと思います。



藤女子大学の国際交流



在日カナダ大使館首席公使の来訪

2019年5月16日(木)、学術交流を目的に在日カナダ大使館 ナディア・ブルジェー首席公使及びカナダ政府札幌通商事務所 辻尾晋一 通商代表が本学を来訪し、カナダ留学経験者及び国際交流担当教員等との意見交換を行いました。

前半は、2018年9月～12月にカナダ留学した学生から、授業やホームステイ、現地学生との交流の様子について、英語で紹介がありました。公使は終始和やかな様子で話に耳を傾け、学生の英語の発音や話の内容に



についてお褒めの言葉をかけてくださり、学生にとっても今後の励みとなる貴重な経験となりました。その後は、国際交流センター長の伊藤明美教授(文化総合学科)、カナダ出身のJeremy Redlich准教授(英語文化学科)と、本学の国際交流実績や今後の計画等について意見交換を行ったほか、ご自身の経験を踏まえた異文化コミュニケーションへの対応や女性の活躍等、幅広いトピックについて歓談されました。

また、公使からは、学術交流面における本学とカナダのさらなる協力・発展を楽しみにしているとのこと発言もありました。本学としても協定するカナダ2大学とのより一層の連携・強化を図り、学生や地域社会にその成果が還元できるよう努力を続けていきます。

タイ・チェンマイ大学への短期プログラム派遣について

藤女子大学は、2019年度春休み(2020年2月～3月)から、タイで英語を学びインターンシップに参加する短期プログラムの派遣を開始する予定です。チェンマイ大学語学センターが提供する英語の授業は、TESL(英語教育)の資格をもつ英語のネイティブスピーカーが担当し、インターンシップでは、ホテルや私立幼稚園などで、英語を使って活動します。

国際化の進展により、英語はいわゆる「英語圏」以外でも広く共通言語として使われるようになってきました。チェンマイは、タイ北部の伝統文化と都会的リゾートが混在する都市であり、国内の富裕層をはじめ、海外からも多くの旅行者が訪れる土地柄です。参加者募集は9月に行いますので、詳細は国際交流センターにお問い合わせください。



チェンマイ大学正門

学校法人藤学園 藤女子大学 2018年度 決算諸表

2018年度 資金収支計算書 (単位：千円)

科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
学生生徒等納付金収入	2,045,537	1,981,359	2,696,050
手数料収入	37,001	35,048	57,167
寄付金収入	12,533	15,331	78,129
補助金収入	193,298	209,252	1,479,451
資産売却収入	1,120,695	1,210,459	1,210,779
付随事業・収益事業収入	3,265	2,671	34,237
受取利息・配当金収入	7,906	9,001	18,970
雑収入	97,889	58,797	161,980
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	707,823	709,205	812,040
その他の収入	1,227,904	1,107,298	3,351,627
資金収入調整勘定	△ 842,389	△ 747,109	△ 1,245,609
前年度繰越支払資金	1,100,959	1,478,597	2,930,149
収入の部 合計	5,712,421	6,069,909	11,584,970
人件費支出	1,589,395	1,557,394	2,968,053
教育研究費支出	485,382	400,241	746,033
管理経費支出	111,311	110,909	188,756
借入金等利息支出	4,332	3,643	3,643
借入金等返済支出	82,210	82,210	82,210
施設関係支出	219,591	397,349	1,440,772
設備関係支出	53,315	104,763	146,731
資産運用支出	1,675,685	2,260,028	3,719,552
その他の支出	46,891	51,449	166,931
資金支出調整勘定	△ 34,288	△ 27,175	△ 131,581
翌年度繰越支払資金	1,478,597	1,129,098	2,253,870
支出の部 合計	5,712,421	6,069,909	11,584,970

2018年度末 貸借対照表 (単位：千円)

科目	法人 前年度	法人 決算額
固定資産	19,195,859	19,654,995
有形固定資産	12,672,890	13,781,401
特定資産	6,455,788	5,820,683
その他の固定資産	67,181	52,911
流動資産	3,179,830	2,763,143
資産の部 合計	22,375,689	22,418,138
固定負債	1,500,304	1,330,750
流動負債	1,129,148	1,182,437
負債の部 合計	2,629,452	2,513,187
基本金	23,023,745	24,296,897
繰越収支差額	△ 3,277,508	△ 4,391,946
純資産の部合計	19,746,237	19,904,951
負債及び純資産の部 合計	22,375,689	22,418,138

藤女子大学 2018年度決算の概要

事業活動収支計算書のうち、教育活動収支の収入の部の合計は学生現員数の減少等により、前年度比88百万円減の22億94百万円となりました。支出の部の合計は23億52百万円で、前年度比1億31百万円減少しました。これにより、教育活動収支差額が58百万円の支出超過となっていますが、この主な要因は、コンピュータ教室の教育用 I C T 機器の更新に係る経費54百万円の支出です。なお特別収支では、I C T 機器及び図書等の除却費6百万円を計上しています。これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は49百万円の支出超過となりました。基本金については、2018年9月に竣工したチャペル棟の建設費及び図書資産の増加分を合わせて2億3千万円を組入れています。

資金収支計算書では、チャペル棟の建設及び教育用 I C T 機器の更新等の要因により、翌年度繰越支払資金は3億49百万円減の11億29百万円となりました。チャペル棟の竣工により、2014年度から実施してきた北16条キャンパスの耐震改築事業は完了しましたが、今後も更なる教育研究環境の充実を目指して、整備計画を進めてまいります。

2018年度 事業活動収支計算書 (単位：千円)

区分	科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	2,045,537	1,981,359	2,696,050
	手数料	37,001	35,048	57,167
	寄付金	7,533	9,331	45,468
	経常費等補助金	191,017	206,972	1,154,659
	付随事業収入	3,265	2,671	34,470
	雑収入	97,889	58,798	160,065
	教育活動収入計	2,382,242	2,294,179	4,147,879
	人件費	1,577,085	1,555,185	2,959,760
	教育研究経費	775,427	665,608	1,176,366
	管理経費	130,922	130,984	227,852
教育活動支出の部	徴収不能額等	631	606	606
	教育活動支出計	2,484,065	2,352,383	4,364,584
	教育活動収支差額	△ 101,823	△ 58,204	△ 216,705
	受取利息・配当金	7,906	9,001	18,969
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	7,906	9,001	18,969
	借入金等利息	4,332	3,643	3,643
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	4,332	3,643	3,643
	教育活動外収支差額	3,574	5,358	15,326
経常収支差額	△ 98,249	△ 52,846	△ 201,379	
特別収支	資産売却差額	6,490	209	529
	その他の特別収入	9,401	9,929	375,832
	特別収入計	15,891	10,138	376,361
	資産処分差額	87,192	6,279	16,231
	その他の特別支出	6,102	1	37
	特別支出計	93,294	6,280	16,268
	特別収支差額	△ 77,403	3,858	360,093
	基本金組入前当年度収支差額	△ 175,652	△ 48,988	158,714
	基本金組入額 合計	△ 330,106	△ 232,761	△ 1,273,152
	当年度収支差額	△ 505,758	△ 281,749	△ 1,114,438
事業活動収入計	2,406,039	2,313,318	4,543,209	
事業活動支出計	2,581,691	2,362,306	4,384,495	

2019年度(平成31年度)入試報告

■藤女子大学総計

学部	学科	募集	出願	受験	合格	入学
文学部	英語文化学科	80	350	347	224	96
	日本語・日本文学科	80	331	327	285	99
	文化総合学科	80	345	336	201	98
	計	240	1026	1010	710	293
人間生活学部	人間生活学科	80	240	237	219	61
	食物栄養学科	80	253	248	193	81
	保育学科	80	158	158	135	65
	計	240	651	643	547	207
合計		480	1677	1653	1257	500

□一般入学試験 (A日程) ※試験1日目・2日目合計

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	44	211	208	132
	日本語・日本文学科	34	151	149	128
	文化総合学科	36	216	207	120
	計	114	578	564	380
人間生活学部	人間生活学科	26	91	88	78
	食物栄養学科	32	126	121	105
	保育学科	38	75	75	66
	計	96	292	284	249
合計		210	870	848	629

□一般入学試験 (B日程)

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	日本語・日本文学科	10	28	26	21

□大学入試センター試験利用入学試験 (A日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	5	86	54
	日本語・日本文学科	10	119	106
	文化総合学科	4	68	35
	計	19	273	195
人間生活学部	人間生活学科	12	116	108
	食物栄養学科	14	79	49
	保育学科	3	42	29
	計	29	237	186
合計		48	510	381

□大学入試センター試験利用入学試験 (B日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	3	11	5
	日本語・日本文学科	3	16	13
	文化総合学科	4	14	7
	計	10	41	25
人間生活学部	人間生活学科	5	14	14
	食物栄養学科	2	4	3
	保育学科	2	4	4
	計	9	22	21
合計		19	63	46

□公募推薦入学試験

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	15	35	35	26
	日本語・日本文学科	15	14	14	14
	文化総合学科	20	32	32	24
	計	50	81	81	64
人間生活学部	人間生活学科	22	15	15	15
	食物栄養学科	16	42	42	34
	保育学科	25	32	32	31
	計	63	89	89	80
合計		113	170	170	144

□その他、藤学園系列高等学校との間に姉妹校推薦入学試験、カトリック協定高等学校との間にカトリック校推薦入学試験があります。

□公募推薦入学試験 (地域貢献人材育成枠)

学部	学科	募集	出願	受験	合格
人間生活学部	人間生活学科	5	1	1	1

□社会人入学試験(出願のあった学科のみ)

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	文化総合学科	若干名	1	1	1

□藤女子大学大学院

研究科	専攻	募集	出願	受験	合格
人間生活学研究科	人間生活学専攻	8	2	2	2
	食物栄養学専攻	8	3	3	3
合計		16	5	5	5

2018年度 藤女子大学・大学院 進路就職状況

最新情報は本学HPに掲載いたします。【就職状況】https://www.fujijoshi.ac.jp/career/affair/a_latest/ 【就職一覧】https://www.fujijoshi.ac.jp/career/list/l_latest/

〈大学〉

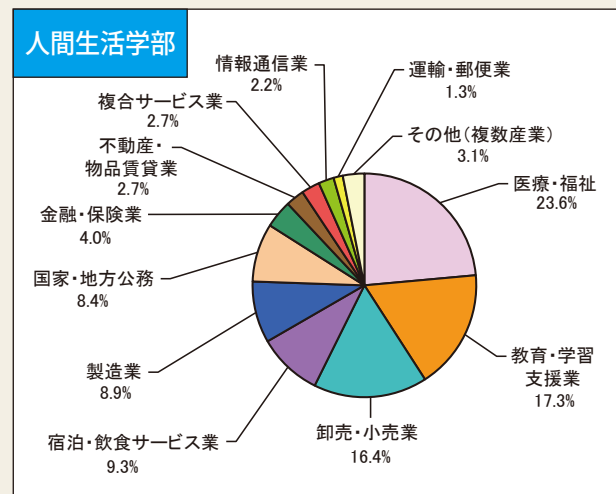
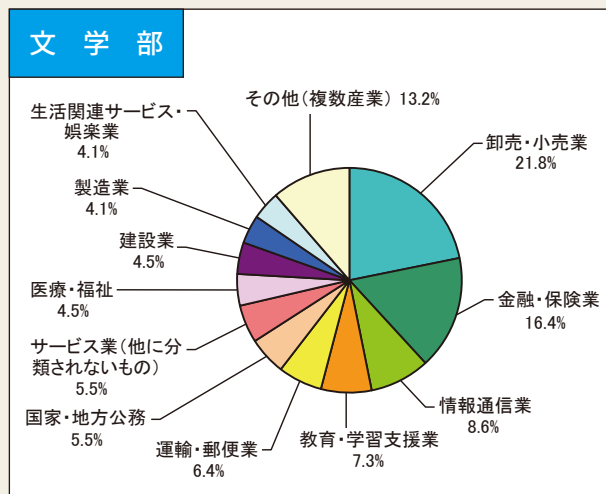
2019年5月1日現在

	卒業 者数 ※1	卒業後の進路					その他 ※2
		進学		就職		就職率	
		希望数	決定数	希望数	決定数		
文 学 部							
英語文化学科	80	2	2	75	71	94.7%	3
日本語・日本文学科	77	1	1	70	66	94.3%	6
文化総合学科	94	1	0	88	83	94.3%	5
学 部 計	251	4	3	233	220	94.4%	14
人 間 生 活 学 部							
人間生活学科	82	0	0	77	72	93.5%	5
食物栄養学科	84	2	2	81	80	98.8%	1
保育学科	76	1	1	73	73	100.0%	2
学 部 計	242	3	3	231	225	97.4%	8
合 計	493	7	6	464	445	95.9%	22

		就職先内訳							
		企業等		専門職(福祉・栄養・保育)		教 員		公 務 員	
		希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
文 学 部									
英語文化学科	68	65	—	—	3	2	4	4	
日本語・日本文学科	59	57	—	—	5	4	6	5	
文化総合学科	81	77	—	—	1	1	6	5	
学 部 計	208	199	—	—	9	7	16	14	
人 間 生 活 学 部									
人間生活学科	52	49	13	11	7	7	5	5	
食物栄養学科	36	36	37	36	2	2	6	6	
保育学科	21	21	19	19	23	23	10	10	
学 部 計	109	106	69	66	32	32	21	21	
合 計	317	305	69	66	41	39	37	35	

※1：年度途中の卒業者を含む。 ※2：主婦・社会人入学者を含む。

〈就職先産業別比率〉



〈大学院〉

人間生活学研究科	修了者数	修了後の進路				
		進学		就職※		その他
		希望数	決定数	希望数	決定数	
人間生活学専攻	1	0	0	1	1	0
食物栄養学専攻	3	0	0	3	1	0
合 計	4	0	0	4	2	0

人間生活学研究科	就職先内訳							
	企 業 等		専門職(福祉・栄養)		教 員		公 務 員	
	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
人間生活学専攻	0	0	0	0	1	1	0	0
食物栄養学専攻	3	1	0	0	0	0	0	0
合 計	3	1	0	0	1	1	0	0

※社会人(職場復帰)を含む。

2018年度卒業生の就職状況も、就職希望者に占める就職者の割合が大学全体で9割を超える結果となりました。就職活動の環境は学生の売り手市場が続いており、企業は3年生のインターンシップから学生とコンタクトし、「良い人材を早期に確保したい」思惑が見て取れます。一方で学生は、業界・企業研究がまだ十分でない段階で接点を持った企業等に、早々に志望を絞り込む傾向も見られ、入社後にミスマッチに気づくことにならないか心配されるところです。

今後2021年卒業予定者の就職活動より、企業の採用活動に関する「就活ルール」の廃止が決まり、採用の「早期化」「多様化」が進むとの見方もあります。動向を注視しつつ、学生への適切な情報提供とサポートに努めてまいります。

本学では今年度から新たに、文学部2年生の前期選択科目「女性とキャリアⅡ」の授業がスタートしました。世の中はICTの進展やAIの台頭、女性活躍推進など目まぐるしく変化しており、学生は親世代と大きく異なる時代に自身のキャリアを築いていくことになります。新しい時代に求められる人材像を学生がイメージでき、また、社会人として自立した生活を営むための意識を高めることができるよう取り組んでおります。

大学へのご支援ありがとうございます

藤女子大学の寄付募集活動は、みなさまの温かいご支援により、2012年度からの累計額が1億5千万円に達しました。寄付募集につきまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに感謝の意を表しご芳名を掲載させていただきます。

寄付者ご芳名 (第14回) 期間 2018年10月1日～2019年3月31日 (敬称略・お申込順)

〈保護者〉	〈卒業生〉				〈旧教職員・旧役員〉	〈教職員・役員〉	〈その他、法人等〉
榊原 容子	塚田 純子	長南 幸子	黒澤 滋子	大槻 七重	箱山富美子	佐々木壽幸	藤の実会
崎山 賢	村本 憲子	清水 公子	栗山 静恵	山田久美子	長谷部 清	木村 晶子	吉田 伸弘
匿名 3名	阿部 洋子	中野 洋子	高桑 早苗	横関 喜美	三浦 良一	田口 恭子	緒方 祐磨
計 5名	森元 芳枝	上水久美子	恩村 恭子	坂田 直子	匿名 2名	計 3名	計 3名
	松岡 博子	諸留智恵子	秋元 道子	山本 美佳	計 5名		
	浅井 恵子	清水 宣子	小松千紗子	山中 孝子		〈受配者指定〉	
	岡本 和子	三上 謡子	川崎 桃子	匿名 24名		(株)メディカルシステムネットワーク	
	根本 祐子	阿知波 真知子	山上 順子	計 57名		・受配者指定寄付金 (2019/1配布)	
	町田 淳子	石本美地子	松尾ひろ子			計 1名	

計74件 3,211,473円

■寄付実績・使途のご報告

2018年度寄付受入 実績報告 (2018年4月～2019年3月末)

総計 126件 13,001,473円

2018年度寄付金額総計13,001,473円のうち、用途指定のある寄付収入(特別寄付金)は、6,590,000円でした。(チャペル建設資金、聖具整備代として) 一般寄付金6,411,473円のうち、1,000,000円を奨学研修の積立金へ、5,411,473円は一部を北16条キャンパスチャペルオルガン購入へ充当し、残りを施設整備の積立金へ組入れすることといたしました。

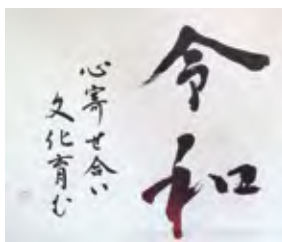
現在、学生支援体制のさらなる充実のため、新型奨学金制度の創設を予定しております。今後とも、ご支援をいただければ幸いです。

〈内訳〉

保護者	35件	750,000円
卒業生	64件	4,476,000円
旧教職員、旧役員等	14件	410,000円
教職員、役員等	5件	855,473円
その他	8件	6,510,000円

学内ニュース

押上万希子先生の揮毫による「令和」が紙面を飾る。



日本語・日本文学科講師 押上万希子先生の揮毫による「令和」が、4月2日(火)付の北海道新聞 朝刊のラッピング紙面を飾りました。

「日本栄養・食糧学会 功労賞」受賞おめでとうございます

本学名誉教授 知地英征 氏が第73回日本栄養・食糧学会 功労賞を受賞されました。

長年に亘り栄養科学、食糧科学の分野において、学術研究、研究者育成および学会の発展に寄与されてきたご功績により表彰されました。5月17日に行われた表彰式で、知地先生は「北海道に最初の管理栄養士課程を設置した藤女子大学としての表彰と受けとめている。」と挨拶されました。誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

藤女子大学 名誉教授 知地 英征 氏

1989年藤女子短期大学助教授として着任。1992年藤女子大学助教授、1995年同大学教授、2003年同大学大学院教授を兼任。2013年定年退職、名誉教授称号授与。

2018年度表彰式

2018年度「学生部長賞」「学生部長特別賞」が決定し、4月6日(土)新入生歓迎行事のステージ発表に先立って、表彰式が行われました。おめでとうございます。

学生部長賞

◆ 箏曲部

50回にも及ぶ演奏会をはじめ、OGとの密接な繋がりを持ちながら長年の地道な活動が評価されました。

◆ 藤陽祭実行委員

綿密な準備とチームワークにより、昨年の「藤陽祭」を大成功に導いた功績が認められました。

学生部長特別賞

◇ 文学部 日本語・日本文学科 3年生 K.Mさん

本学には対象部活がないため、北海道大学の「跡部部」に所属し、日々の鍛錬によって全国大会においても個人・団体共に優秀な成績を残したことが評価されました。※受賞時の学年を記載しています。

お祈りいたします。



元藤女子大学 文学部文化総合学科 教授
武内 光一様

2019年5月5日ご逝去 78歳
1965年函館北高等学校に教諭として着任後、道内の高等学校、教育庁等に勤務。1994年4月からは名寄恵陵高等学校校長、留萌高等学校校長、恵庭北高等学校校長、札幌北高等学校校長を歴任され、2002年4月本学文学部文化総合学科教授として着任。教職をめざす学生の教育にご尽力頂き2010年3月退職。2000年文部大臣教育者表彰受賞。

元同窓会藤の実会 会長
木原 くみこ様

2019年1月2日ご逝去 67歳

1971年藤女子短期大学 国文科卒業
2014年度から2017年度まで4年間に亘り会長を務められました。

文化総合学科 新入生宿泊研修

文学部 文化総合学科 講師 上原 賢司

文化総合学科では2000年の学科設立以来、新入生の入学直後に1泊2日の宿泊研修を行っています。本年度は4月13日(土)から14日(日)にかけて実施しました。この宿泊研修は現在、文化総合学科のみで行われております。ですから、本学科の学生たちが先輩後輩の垣根を越えて共有できる、独特なイベントともなっています。

新入生宿泊研修は毎年、花川キャンパスに隣接する藤学園セミナーハウスにて行っています。このセミナーハウスは、1984年7月13日の開館以来、学園関係者の暖かい支援に支えられて今も利用され続けている、学生にとっても貴重な施設となっています。

さて、この宿泊研修の主な目的は、これからの大学での学び方を確認するとともに、学生同士や教員との親睦を深めるところにあります。研修はまず、教員の自己紹介(初回授業の「硬い」紹介ではなく、より「くだけた」紹介)から始まり、その後、夕食をはさみつつ、新入生の自己紹介へと続きます。そして、翌日の朝食の後、セミナーハウスに隣接するマリア院を訪問し、午前中の残りの時間は基礎演習という内容となっています。

新入生の自己紹介は、参加者全員が行いました。この自己紹介をきっかけに、共通の趣味や学問的興味で新たな交流をはじめられた



宿泊研修恒例・学生による自己紹介

との感想を多くの学生が伝えてくれました。

翌朝、マリア院を訪問しました。本年度は天候に恵まれ、穏やかな朝の散歩となりました。マリア院では、本学でキリスト教関連の授業も担当されているシスター木村(人間生活学科 教授)から、マリア院のあらまじやカトリックの礼拝についての基本的な知識をお話してもらいました。

基礎演習は、学生が前期に所属するゼミに分かれて行われました。そこで、各担当教員から、ゼミにおける今後の学修の進め方についての指導がなされました。

以上が、文化総合学科宿泊研修の全日程です。宿泊研修での経験や出会いが、これから大学生活を過ごすうえで何かしらの糧になってくれれば幸いです。



広報・コミュニケーション研究

人間生活学部 人間生活学科 4年 T.Nさん

私が所属している和田雅子先生のゼミでは、広報コミュニケーションについて研究をしています。ゼミの活動では、広報コミュニケーションや広告に関わる基本的なことを座学やグループディスカッション、学外活動を通して学んできました。研究の一環として取り組んだ最も大きなプロジェクトは、大学所在地である石狩市の飲食店情報誌「石狩食べつくし飲みつくしINFO」を作成したことです。これは、石狩市内の飲食店およそ30店舗を掲載している冊子で、石狩商工会議所と共同制作しました。これまで発行されていた飲食店情報誌を一新し、現役女子大生ならではの視点から飲食店を紹介しています。実際に私達が自ら飲食店へ取材に行き、記事の作成、デザインの選定、校正を繰り返しメディアへのリリース作業まで行いました。ゼミ発足当初から1年間かけて取り組み、3月に無事発行され、主に石狩市内の公共施設に置かれています。活動で行った事全てが私達にとって初めての経験で、非常に行き詰ることが多かったのですが、ゼミのメンバー全員で最後まで妥協せずに取り組み姿勢があったか

らこそ納得のいくものが完成したと思っています。

また現在は「地球環境を考えて行動する!」という世界的なプロジェクトであるアースデイに食物栄養学科のゼミと合同で参加するため、準備に励んでいます。広報コミュニケーション研究を通して、滅多に取り組めないような多くの経験をさせていただき充実した研究活動を送っています。

※人間生活学科ではHPで学科の授業の様子や取組みなど様々な情報を発信しております。是非ご覧ください。

人間生活学科HP▶



飲食店情報誌、内容決定のためのプレゼンテーション



普段のゼミ活動の様子

藤女子大学は学生の様々な活動を応援します!

躰道



文学部
日本語・日本文学科
4年
K.Mさん

私は大学1年生の秋から北海道大学の躰道部に所属しています。躰道とは空手に器械体操を組み合わせたような武道です。

初めは私のみが藤女子大学の学生で不安なことも多々ありましたが、良い仲間恵まれたおかげで今まで続けることが出来ました。昨年度は学生の全国大会の団体種目で優勝と第3位、一般の全国大会の団体種目でも優勝と第3位という成績をおさめました。

私は躰道部の活動と並行して日本語・日本文学会学生運営委員会にも所属しています。そのため大会前は、講義・ゼミの合間の空き時間で自主練習をし、更に委員会活動、ゼミの準備、アルバイト、そして部活動に参加するという時間に追われた生活をしていました。忙しい中でも、それぞれやるべきことに時間制限を設け気持ちを切り替えながら活動していました。

遠征のために授業に出られない時は友人にお願いしてノートを写させてもらったり、先生のお時間をいただいて分からない部分を質問しました。協力してくださった友人や先生方に感謝しています。

また今回、躰道部での活動が評価され「学生部長特別賞」をいただきました。今までの努力を認めていただき非常に嬉しかったです。

今後は躰道部で培った体力と精神力で、残り一年間の大学生活を実りあるものに使いたいです。



人形劇、人形浄瑠璃を行って



人間生活学部
保育学科 4年
S.Sさん

私は、人形劇の活動をしています。きっかけは小学生の時に中島公園のこくま座で開催されている小学生向けの人形劇講座に参加したことでした。中学校に上がる頃に同年代の仲間たちと人形劇団ポンドを立ち上げ、大学生になった今も活動を続けています。中学生から人形浄瑠璃も行い、現在は札幌人形浄瑠璃芝居あしり座という劇団に所属しています。

普段の活動では、週に何度か集まり、劇場職員の方々に手伝っていただきながら、年に数回の公演に向けて人形製作や練習を行っています。また、最近ではチェコ在住の人形劇師である沢則行さんの手がける、巨大人形劇に参加させていただいたり、昨年度は姉妹都市であるロシアのノボシビルスクに行き、人形劇を通じた国際交流に参加しました。ほかにも福島を訪問し、人形劇や人形浄瑠璃を使って、復興支援活動を行なっています。

人形劇も、浄瑠璃も、実際にやってみると個人で行うことは少なく、劇団の仲間だけではなく舞台に関わる様々な人と話し合ったり、協力しながら作品を作っていることがわかりました。それにより、人形劇の活動を通して改めて人と関わることの楽しさや新しいことへ挑戦していく面白さを感じることができました。

来年私は社会人になりますが、今後もこのような活動を続けていきたいと思っています。また、もっとたくさんの人に人形劇に興味を持ってもらえるようにしていけたらいいなと思っています。



素顔の先生 第10回

人間生活学部 人間生活学科 教授

伊井 義人先生



▲娘と木曜島で

▲研究での恩師、メルボルン大学のハドレー・ペアー先生と。

学生がプレゼントしてくれたケーキ、僕の顔らしいです。▶



第10回「素顔の先生」は、教職課程科目等を担当されている人間生活学部人間生活学科の伊井義人先生にインタビューをしました。普段の授業では聞くことのできない、オーストラリア教育の研究や今後の目標など貴重なお話を伺い、有意義な時間となりました。

Q1. 藤女子大学の印象は？

藤女子大学は、ゆったりした空気が流れていたり、優しい雰囲気があるように感じます。さらに、私は教職課程で文学部と人間生活学部の授業を担当しているのですが、面白いと感じるのは両学部のキャンパスで行う授業が同じ内容であっても「違う」と感じることです。それは二つの学部の学生がもつ関心に違いがあるからです。文学部の学生は文化的な側面、人間生活学部の学生は生活に基づいた実践的な側面に興味を持っています。両学部が交流することによって、この二つの特色を活かし合い、違う視点を共有すればもっと面白い授業になると思うのですが、残念ながら実現できていません。

Q2. 大学教員になろうと思った理由は何ですか？

大学生の時は教育学科に在籍して、高等学校の英語の先生になるつもりで教員採用試験も受けました。しかし、実際に高校への教育実習に行ってみて、考えが大きく変わりました。生徒と接することは楽しかったのですが、自分は英語を教えるということよりも、教育学に関して興味があることに気が付き、教員を志望している学生に教育学を教え、どんな先生になりたいのかを一緒に考えていく方が自分に向いていると思うようになりました。そのため大学院ではオーストラリアの学校教育の研究をしていました。夢や目標を持つことは大事です。でも、実際に体験したからこそ分かる、自分に向いていることや興味のあることがあるのではないのでしょうか。

Q3. なぜオーストラリア教育について学ぼうと思ったのですか？

オーストラリアは多文化社会です。かつてイギリスの植民地であったため昔は英語圏からの移民が多かったのですが、今はアフリカやインドなど様々な国からの移住者がいます。私はそういった多様性を受け入れる場所が好きなのです。日本人の多くは日本語を母語とします。しかしオーストラ

リアで英語しか話さないのは7割くらいの人達で、アフリカの言語や中国語、韓国語などいろいろな言語を話す人々が1つの国をつくっています。このような多文化的な環境が教育にどう貢献ができるのか、研究しています。

また、日本の学校・学級では、みんなが分かり合えることが前提となっていますが、オーストラリアは異なります。オーストラリアのように多くの価値観が共存する国では、話し合うことから始めて、幸運ならば分かり合えて、そこから新しいものを作っていくとします。日本とは前提となる価値観が正反対の国といえます。だからこそ、大学院生以来、20年以上も研究し続けているのです。

Q4. 学生のうちに経験しておいた方が良くと思うことはありますか？

いろいろなところへ行って、いろいろな経験をすることです。必ずしも遠いところというわけではなく、今まで行ったことがないところに行くと多くの人に会うことによって、人生の幅が広がると思います。大学生のとき、自分と分かり合える人とだけ付き合うのは心地良けれど、それでは自分は成長できていないと感じたことがありました。そこで、私は大学2年生の春休みに約1ヶ月間パキスタンへ行きました。海外に行くこととショックなことや傷付くこともあるけれど、その壁を乗り越えることで人間として少しだけ成長できるのだと実感しました。いつもと違う環境に身を置くことは、価値観を広げる大切な経験になると思います。

Q5. 先生の今後の目標を教えてください。

究極の目標は、楽しかったと振り返られる人生にすること。そのために自分のやりたいことをしながら、学生との素敵な時間を過ごしていきたいと思っています。また、大学教員としての目標は「学び続ける姿」を学生に見せることです。そのために私自身、学生と同僚の教員と日々一緒に学んでいきたいと思っています。



人間生活学部
人間生活学科 3年
T.M.さん

インタビュー中、教職課程を取っている私たちに向けて様々なアドバイスをして下さり、実際に体験することの重要性を学びました。そのアドバイスをともに、今後も目標達成のため努力していきたいです。



人間生活学部
人間生活学科 3年
N.S.さん

今回のインタビューを通し、二つのキャンパスで授業をしている伊井先生だからこそわかる藤女子大学の魅力を知ることが出来ました。学生思いの伊井先生と一緒に残りの学生生活をより充実させたいと思いました。



人間生活学部
人間生活学科 3年
H.M.さん

普段の授業では聞けない、海外での経験やそこで感じたことなどを教えていただき、貴重な経験となりました。先生が研究されているオーストラリア教育に興味を持つことが出来ました。

前回は、潜伏していたキリシタンが1865年に長崎大浦天主堂のプチジャン神父に名乗り出たこと、そこから全世界に日本での奇跡的な信徒発見のニュースが伝えられたこと、欧米からの圧力によって1873年にキリシタン禁制の高札は撤去され、キリスト教は解禁されたことを書きました。

外国人居留地から自由に外に出ることが許されていなかったパリ外国宣教会の宣教師たちにも、内地旅行が緩和され、教会は急速に進展し始めました。宣教師たちは村から村へと巡り歩き、道々目にする悲惨な状況にある病人、子供、老人などに心を留めて小さな居場所を作りました。その世話のためにフランスから修道会を招き、医療、教育、福祉などの事業に発展させていきました。

1891年に日本の教会は、長崎、大阪、東京、函館の4つの司教区に分けられ、函館元町教会の主任司教だったベルリオーズ師が、函館教区の司教に叙階されました。南樺太と千島を含む北海道全域と新潟と東北6県からなる広大な教区に、働き手は司教を含めて12名の司祭と24名の伝道士だけで、司祭も伝道士も各地を巡回しました。

ベルリオーズ司教は、巡回地だけではなく所在地を持つ教会を建てることに着手しました。開拓地北海道には、迫害を逃れて入植してきたキリスト教徒が大勢いるのに、宣教師不足でした。そのため、ベルリオーズ司教は、1905年に宣教師と宣教資金を集めるためにヨーロッパに出かけました。ローマで、彼は

マリアの宣教者フランシスコ会という女子修道会の総長に会員の派遣を要請し、快諾を得ました。そしてその指導と司牧のために、男子修道会であるフランシスコ会の総長に司祭の派遣を依頼しました。

1907年1月にフランシスコ会ドイツ・フルダ管区のキノルド師と、カナダ管区のベルタン師が札幌に到着し、日本におけるフランシスコ会の再宣教が、およそ400年ぶりに実現したのです。「日本に再来したフランシスコ会の新教会はこうして設立された。活動としてはまず語学を教えることから始め、希望者数は英語、フランス語、ドイツ語の3つを合わせて110名となった。メンバーの大半は農学校の先生、学生、医者であった」とキノルド師は書いています。フランシスコ会は、札幌の北部地域を受け持つことになりました。



1915年、札幌に信徒の堅信式のために来られたベルリオーズ司教(中央)とキノルド師(向かって左)とベルタン師(右)

藤女子大学 未来共創フォーラム 2019

人生100年時代を迎えて～今、次世代と共に生きる意味について考える～

参加費無料

第3回

11/10

13:30～15:30
(開場13:00)

第1部 基調講演 生物として生き抜きたい(仮)

講師: 藤井 美穂 氏 (社会医療法人社団 カレスサポロ 時計台記念病院
副院長・女性総合診療センター長)

第2部 パネルディスカッション

複数の講師をお招きし、それぞれの立場から
「人生100年時代」についてお話しいたします。

会場

藤女子大学 北16条キャンパス
(札幌市北区北16条西2丁目)

時間

13:30～15:30(開場13:00)

参加お申し込み 事前に本学ホームページ上からお申し込みください。 <https://www.fujijoshi.ac.jp>